| 授業科目<br>基礎看護学概論Ⅰ<br>（概念・対象・歴史） | 専任教員名 | 単位数<br>1 | 時間数<br>30 | 履修年次・前/後<br>1年次/前期 |
|---|---|---|---|---|
| 講義のねらい | 1　看護の変遷を理解する。<br>2　看護の定義と基本概念を理解する。<br>3　看護の理論を学び看護実践について理解する。<br>4　看護の機能と役割について理解する。<br>5　看護の対象と看護の提供者について理解する。 | | | |
| 授業形態 | 講義・演習 | | | |
| 講義内容 | 1　看護の本質<br>　1)看護の変遷<br>　2)看護の定義、看護の基本概念(人間・健康・環境・看護)<br>　3)看護の理論家について<br>　＜演習・グループワーク＞<br>「主要な看護理論家の看護理論の特徴についてまとめる」<br><br>2　看護の機能と役割<br>　1)看護ケアについて<br>　2)看護の実践とその質の保証<br>　3)看護の継続性と情報共有<br>　4)看護における倫理<br><br>3　看護の対象<br>　1)人間の「こころ」と「からだ」<br>　2)生涯発達し続ける存在として人間<br>　3)人間の「暮らし」の理解<br><br>4　看護の提供者<br>　1)看護職者の教育とキャリア開発<br>　2)看護職者の養成制度<br>　　＜演習・個人ワーク＞<br>「4つの基本的概念」について考え、「私の看護観」をまとめる | | | |
| 教科書 | 系統看護学講座　専門　基礎看護学①　看護学概論　（医学書院） | | | |
| 参考文献 | 1　看護の基本となるもの　（日本看護協会出版会）<br>1　看護覚え書　（現代社）<br>1　ケアの本質　生きることの意味（ゆみる出版）<br>3　必要に応じて資料を配付する。 | | | |
| 評価方法 | 終講試験 60 点、　課題取り組み・レポート 20 点、ポートフォリオ評価 20 点　合計 100 点 | | | |
| 備考欄 | 教員とのコンタクトについては、授業終了後又は終講時に案内する。 | | | |